端末の健康情報データを取得する方法

歩数など

- . GCPプロジェクトの設定
- . 下記リンクより、新しくGCPプロジェクトを作成する。

https://console.cloud.google.com/cloud-resource-manager?walkthrough_id=resource-manager--create-project&start_index=1&hl=ja&_ga=2.38436195.131999896.1678957153-1897555526.1674891975#step_index=1 ※Android対応時、Google Fit APIの利用権限、APIの有効化が必要なため。

「+プロジェクトを作成」をクリック

■ Google Cloud

リソースの管理

プロジェクトを作成

フォルダを作成
移動
削除

タグ

マフィルタ
フィルタ

ID

最終アクセス日 ▼ ↓

2022年5月2日

削除保留中のリソース

プロジェクト名を入力して、「作成」をクリック



新しいプロジェクト



割り当て内の残りのプロジェクト数は 15 projects 件です。プロジェクト の増加をリクエストするか、プロジェクトを削除してください。詳細 🖸

MANAGE QUOTAS [2]

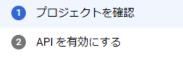


・下記リンクより、画面の指示に従い、「Fitness API」を有効にする。 https://console.cloud.google.com/flows/enableapi?apiid=fitness&hl=ja

下記画面にて「次へ」をクリック



API へのアクセスの有効化



プロジェクト「testproject-health」に変更を加えようとしています。これが使用したい プロジェクトでない場合は、上にあるプロジェクト セレクタを使用して別のプロジェクトを選択するか作成できます。

次へ

「有効にする」をクリック



♣ TestProject-Health ▼

API へのアクセスの有効化

✓ プロジェクトを確認

「Fitness API」を有効にしようとしています。

2 API を有効にする

有効にする

下記のような表示になることを確認

≡ Google Cloud

\$• TestProject-Health ▼

API へのアクセスの有効化

✓ プロジェクトを確認

「Fitness API」を有効にしようとしています。

✓ API を有効にする

有効にする

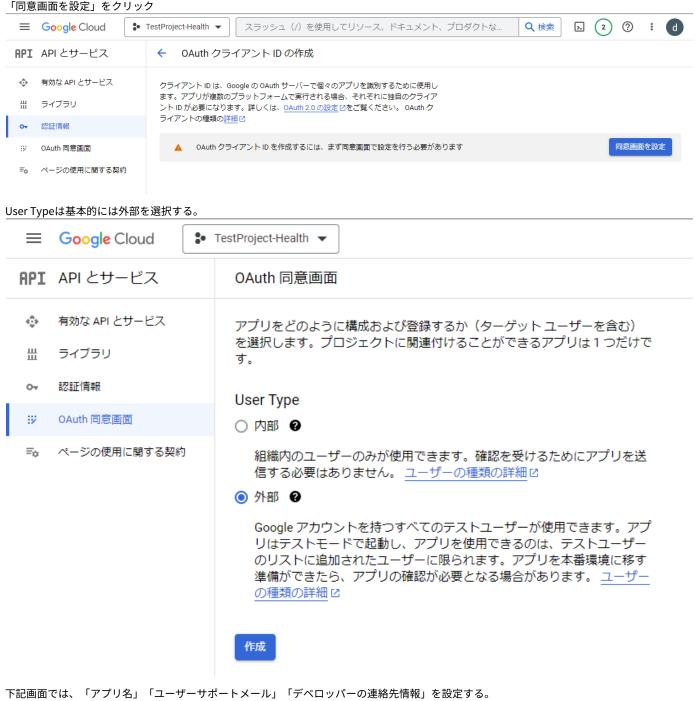
. 下記リンクより、認証情報の画面に進む。

https://console.cloud.google.com/apis/credentials?referrer=search&hl=ja

. [**新しい認証情報**] をクリックし、[**OAuth クライアント ID**] を選択する。

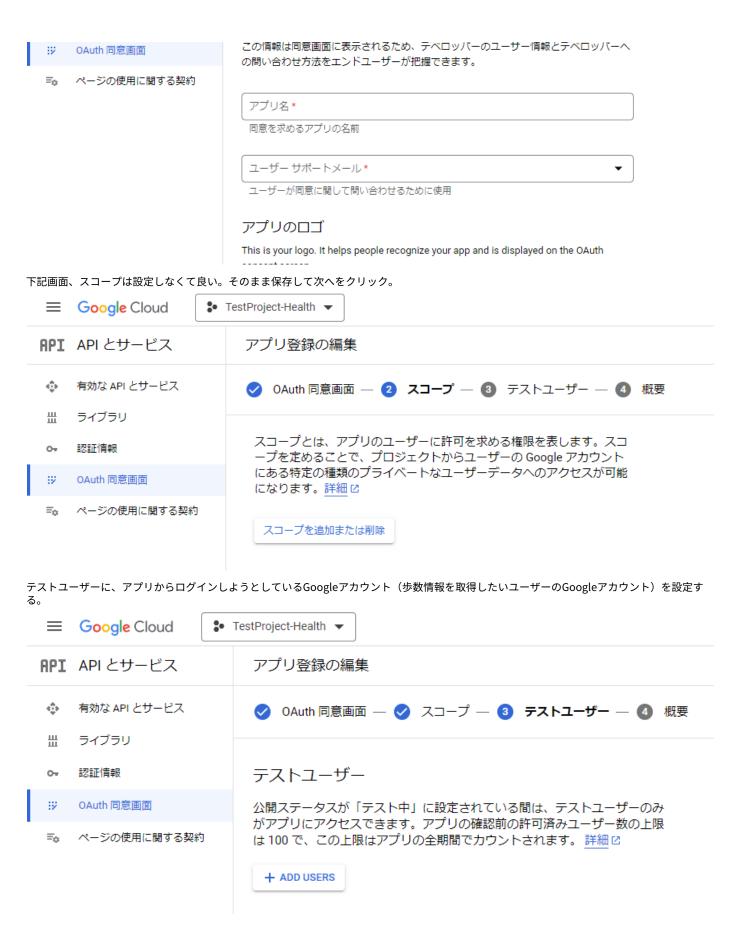


. **OAuth 同意画面**の設定が必要な場合は、画面の指示に従い進める。



下記画面では、「アプリ名」「ユーザーサポートメール」「デベロッパーの連絡先情報」を設定する。 その他の項目は未入力で良い。 ページー番下の「保存して次へ」をクリック





下記の画面になったら、次の手順へ。



. 再度下記リンクへ遷移し、「認証情報を作成」→「OAuthクライアントID」を選択する。 https://console.cloud.google.com/apis/credentials?referrer=search&hl=ja



. [**アプリケーションの種類**] で [**Android**] を選択する。 また、アプリの SHA-1 フィンガープリントとパッケージ名を入力する。 Debug用フィンガープリントの取得コマンド

 $keytool\ -list\ -v\ -keystore\ C: \ \ Users\setminus [User\ Name] \setminus .android \setminus debug. keystore\ -alias\ android debugkey\ -storepass\ android\ -keypass\ android$



ページの使用に関する契約

名前*

Android クライアント1

OAuth 2.0 クライアントの名前。この名前はコンソールでクライアントを識別するために のみ使用され、エンドユーザーには表示されません。

パッケージ名*

AndroidManifest.xml ファイル内。

SHA-1 証明書のフィンガープリント*

SHA-1 署名証明書フィンガープリントによって Android アプリのみに使用を制限します。 詳細区

Use this command to get the fingerprint.

\$ keytool -keystore path-to-debug-or-production-keystore -list

注: 設定が有効になるまで 5 分から数時間かかることがあります

作成 キャンセル

- . 作成をクリックする。
- . Flutterプロジェクト作成

まずはFlutterのプロジェクトを作成する。 この中では、歩数データ取得に必要な対応について解説する。

. Android向けパーミッション取得の処理を実装する。 Androidで android.permission.ACTIVITY_RECOGNITION の権限許可を求めるために、permission_handlerパッケージを使用導入する。

・パーミッション状態の判定

PermissionStatus = await Permission.activityRecognition.status;

・ユーザーへのパーミッションリクエスト

PermissionStatus newStatus = await Permission.activityRecognition.request();

また、AndroidManifestに下記を記載する。

<manifest ...> <uses-permission android:name=android.permission.ACTIVITY_RECOGNITION /> </manifest>

.iOS向け設定の追加

```
<key>NSHealthShareUsageDescription</key>
<string>私たちは、お客様の健康データを使用して、お客様にパーソナライズされた推奨コンテンツを提供します。</string>
<key>NSHealthUpdateUsageDescription</key>
<string>私たちは、お客様の健康データを使用して、お客様にパーソナライズされた推奨コンテンツを提供します。</string>
```

また、XCodeの設定より、CapabilitiesのHealthKitを追加する。 (事前にApp IDの作成と、作成時にHealth KitのCapabilitiesを追加しておいてください。)

. healthパッケージの導入

healthパッケージを使うためのインスタンス取得と、歩数取得のtypeの定義を行う。

```
final health = HealthFactory();
final types = [HealthDataType.STEPS];
```

healthパッケージが利用する健康情報へのアクセスをユーザーにリクエストする。

final _isAuthorized = await health.requestAuthorization(types);

健康状態へのアクセスを許可されれば、下記のようなコードで期間を指定して歩数情報を取得できる。

```
DateTime startDate = DateTime.now().subtract(const Duration(days: 31));
DateTime endDate = DateTime.now();

List<HealthDataPoint> healthData = await health.getHealthDataFromTypes(
    startDate,
    endDate,
    types,
);
```